

令和5年度 第4回春日井市障がい者施策推進協議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年1月10日(水) 午前10時から
- 2 開催場所 春日井市役所南館4階 第3委員会室
- 3 出席者 委員
会長 中尾 友紀(日本女子大学)
副会長 田代 波広(障がい者生活支援センターJHNまある)
大島 理恵子(春日井市肢体不自由児・者父母の会)
服部 浩子(春日井市手をつなぐ育成会)
山本 松壽(春日井地域精神障害者家族会むつみ会)
加藤 鉦明(春日井市社会福祉協議会)
市川 潔(春日井市介護保険居宅・施設事業者連絡会)
宇佐美 紀浩(愛知県医療療育総合センター)
高木 敏行(春日井公共職業安定所)
後藤 義和(春日台特別支援学校)
芝垣 正光(公募委員)
永田 菜穂美(公募委員)
小林 宏明(公募委員)
事務局 健康福祉部 部長 神戸 洋史
障がい福祉課 課長 清水 栄司
同課 課長補佐 林 政男
同課 課長補佐 林 千秋
同課 障がい福祉担当主査 杉本 裕昭
同課 認定給付担当主査 秋田 沙耶加
同課 主任 内田 慶太
欠席者 戸田 輝子(春日井保健所)
傍聴者 5名

4 議題

- (1) 第6次春日井市障がい者総合福祉計画(案)について
- (2) 最近の障がい福祉の動向及び取り組みについて

5 配付資料

- 資料1 第6次春日井市障がい者総合福祉計画用語解説
- 資料2 第6次春日井市障がい者総合福祉計画(中間案)についての市民からの意見公募の結果
- 資料3 第6次春日井市障がい者総合福祉計画(案)
- 資料4 令和5年度第4回春日井市障がい者施策推進協議会 御意見・御質問の集計結果について
- 資料5 合理的配慮の提供の義務化について(内閣府資料抜粋)

次第（当日配布）
座席表（当日配布）

6 事務局あいさつ

【事務局】 健康福祉部長あいさつ
資料の確認
当協議会の公開及び要点筆記による議事録作成についての確認

<議題（1）第6次春日井市障がい者総合福祉計画（案）について>

【事務局 杉本】
資料1～4について説明を行った。

【中尾会長】

障がい者総合福祉計画は、委員のみなさまからいただいた御意見を受けた修正がなされていますが、その内容についてはよろしいでしょうか。

【芝垣委員】

これまで、高機能自閉症やアスペルガー、自閉症などと呼ばれていましたが、DSM-5では、自閉症というのは連続した症状であるという考えからスペクトラムという言葉を使い、自閉スペクトラム症に統一すると記載されています。今回の用語解説案では「自閉スペクトラム症」を採用されているのでよいと思っています。今後、またアメリカ精神医学会でDSM-6が出されたりするとまた変わった名称が出てくるかもしれませんが、現時点ではこれでよいと思います。

【中尾会長】

学会等でどう表現をされているのかを踏まえて、また一般にどのような言葉が通用しているのかと合わせ、きちんと分かりやすく表記をしていくことは大事だと思います。正しい表記をしていくことに事務局でも注意をして、記載をお願いします。

【山本委員】

発達障がいに関しては日本の発達障害者支援法、WHOの定義、芝垣委員がいわれたアメリカの精神医学会の定義と色々ありますが、まだ統一がされていない面があると思います。インターネットなどで調べると分類の仕方が違っていて混乱することがあるので、統一された定義がないという点をどこかに記載してはどうかと思います。

【中尾会長】

今の御意見も踏まえて、最終的な見直しを事務局をお願いします。

【小林委員】

障がいのある方が自立意識をもって、障がいの有無に関わらず平等に基本的人権をもち、かけがえのない個人として尊重されること。そして、障がい者だと分けられることなく人格と個人を尊重しながら、共生社会を実現するという基本理念になっています。申し上げた意見を踏まえた修正がされていてありがたく思います。

【大島委員】

医療的ケアについてなど、記載の追加をしていただき、わかりやすくなったと思います。

【高木委員】

資料5の内閣府が作った資料の説明文中にあった「事業者」という表現に、指摘したとおり修正していただいているのでこれでよいと思います。

【中尾会長】

服部委員より、基幹型地域包括支援センターについて御意見がありました。追加することはあるでしょうか。

【服部委員】

基幹相談支援センターが社会福祉協議会にあるという説明があるので、基幹型地域包括支援センターについても説明があるとよいかと思います。

【永田委員】

自閉スペクトラム症については色々と御意見があったとおりに思います。また、アスペルガー症候群や自閉症のところに、「対人関係」や「社会性」といった言葉が入ると分かりやすいと思い意見させていただきました。広汎性発達障がいには「社会性に関する障がい」という言葉が入っているので、同じように「社会」という言葉が入っていると理解しやすいと思います。

また、成年後見制度が法律行為だけではないことについても、意見したとおりに修正していただいているので、よいと思います。

【中尾会長】

一般の人が見てわかるイメージしやすい表現で、かつ間違いがないように、また春日井市の状況も踏まえて解説を書いていたので分かりやすくなっていると思います。今後もさらに春日井市の状況が反映されていくとよいと感じます。

【永田委員】

用語解説のアスペルガー症候群や注意欠陥多動障がいのところに「特異性が見られる」と書かれていて、少し引っかかり意見をしました。修正案では「特徴がある」と表現されていて、よいと思いました。

【芝垣委員】

学会などでは専門的な言葉が使われますが、これは春日井市民のための計画であるので、なるべく分かりやすく、永田委員がいわれたように「特異的」ではなく「特徴がある」などと少しずつ直していったらよいと思います。最低限、自閉スペクトラム症とかアスペルガー症候群といった言葉は使わざるを得ませんが、それ以外はなるべく平易に簡単な言葉で書けるとよいと思いました。

【中尾会長】

今後もお気づきのことが出てくるかと思います。今回に間に合わなかったとしても、また修正をしてよりよいものにしていけたらと思います。

<議題（2）最近の障がい福祉の動向及び取り組みについて>

【事務局 杉本】

資料5について説明を行った。

【中尾会長】

合理的配慮については、事業者からの提供が努力義務から義務になります。このことを踏まえて徹底が図られるように、まずは事業者に対する周知、それから実際に実行していくことをお願いしたいと思います。また、利用されている方も、利用の際に合理的配慮がなされているかを確認する必要があるかと思います。

他には医療保護入院の同意の件、広報に障がいのある方の働きたい思いを応援する記事を掲載したことや、障がい者週間でのハンドベルのコンサートがケーブルテレビの取材を受けたことなどがありました。

先の議題(1)で、加藤委員から用語説明があるとよいとリストを挙げていただきました。事務局から記載について検討するということでしたが、この点についてはいかがでしょうか。

【加藤委員】

今回リストとして挙げたものは、委員会や会議の名称などがほとんどです。関係者はもちろん理解していますが、市民がこの冊子を読んだ時に、どんなものかがわかるように解説があったらどうかと思いました。

「聞こえのボランティア」については、読み手が内容についてイメージできるかなと思いましたので、解説を検討していただけたらと思います。

【中尾会長】

確かに関係者は、どんな委員会や会議であるか知っていますが、計画を読む対象は一般の方や、これから障がい福祉の利用を考えている方などもあることを想定しますと、まだ検討できるところがあるのではないかと思います。この点について、事務局には精査をしていただき、対応をお願いしたいと思います。

【事務局 清水】

本日の協議会で、第6次春日井市障がい者総合福祉計画の策定に向けた御意見の集約が終了しましたので、今年度の協議会開催は今回を最後といたします。今後の予定についてですが、計画は会長から市長へ提言をしていただいた後、厚生委員会、市長決裁を経て完成いたします。今回の計画の冊子及び概要版は、3月末頃に委員のみなさまへ配布させていただく予定です。会長、副会長はじめ委員のみなさま、御多忙の中お時間をいただき、貴重な御意見をいただき深く感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

以上

上記のとおり、令和5年度第4回春日井市障がい者施策推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び副会長が署名する。

令和6年3月11日

会 長 中尾 友紀
副会長 田代 波広